

ベトサダ ニュース

NPO法人 自立支援事業所ベトサダ

〒001-0021 札幌市北区北21条西2丁目1-3

TEL:011-716-5130 ◆ FAX:011-708-7117

HP: <http://www.npo-bethesda.com>

mail: office@npo-bethesda.com

代表より

世間の喧騒を知ってか知らずか、隣の大家さん宅の梅も桜もほころんで来ています。皆さま方、お変わり無くお過ごしでしょうか。このような社会の状態の中においても多くの方から手厚い御支援を頂きまして御礼申し上げます。

このベトサダニュースがお手元に届くころはGWの真只中ですが、連休だとは浮かれてられない状況になっています。

ベトサダでは直接的に感染者発生という被害は出ていませんが、生活面・就労面・財政面でかなりの影響を被っています。

生活面という点、ベトサダは6畳2間を1部屋として3名(入居者が多くなったら4名)、これが6部屋有りますから、定員は18名(多い時は24名)となります。

これが非常事態宣言を受け「3密」防止の為、1部屋2名の定員としました。部屋の両端に個人のスペースを取るようになってはいます。ただこれ以上に状況が悪化した場合には1部屋1名にすることも考えなくてはなりません。

また3食を提供していませんので、食堂の使い方も制限を設け、通常は4名で食卓を囲んでいましたが一度に2名までの利用とし、飛沫感染を防ぐために、2名とも同じ方向を向き極力会話をしないというルールとしました。

いつもなら皆で食卓を囲み談笑している姿が見られたのですが、今は寂しい状況です。これも状況により、部屋に持って行って一人で食べてもらう部屋食制にすることも考えています。

就労支援においても多大な影響が出ています。ベトサダには幾つかの協力企業がありますが、まず早い段階で本州への就労のルートが使えなくなりました。工場勤務が中心ですが、各企業において受け入れがストップしています。

また札幌市内の仕事も、新規の面接・採用ストップ、生産調整により稼働時間の低下、自粛要請の無い店舗でも、社員のみが出社しアルバイトは休業、等々。

毎年5名〜6名採用して頂いている利尻島の観光ホテルの仕事も今年中止になりました。早いペースであれば、ベトサダへの入社当日に面接、翌日から就労開始とスピード感を持って就労支援に当たって来ましたが、しばらくの間は身動きの取れない状態が続きそうです。

また財政的にも、定員を減らした事により、札幌市からの業務委託金が減少し、施設運営にとって実に厳しい状況になって来ています。

もはや「国難」とも言えるこの状態が、いつ終息するものか、現状では悲観的な見方が多くなっています。このGWが終わった頃から、観光宿泊業や飲食業を中心に、仕事を失い住まいを失う方達が、目に見えて増えてくる事が予想されます。経験した事のない困難な状態が続きますが、ベトサダは出来る限りの支援を続けて行きたいと思っています。

皆さま方におかれましても、「自身の安全と大切な方の安全を守る行動をして頂きたく思います。」
【山崎貴志】

施設長より

会員の皆様並びに支援者様、平素から困窮者支援にご理解を頂き、当施設に対するご支援を頂き、誠に有難うございます。新しい年度を迎え転勤や就職、新入学といった新しい生活環境で心機一転と心に秘め、生活を始めた方もいらっしゃるかと思います。

さて、現在世界的な流行となっている感染症についてですが、皆様体調に変わりはないですか？ 連日テレビ等の報道で色々な情報を得ているとは思いますが、個人で出来る予防をしっかり行って十分気を付けて頂きたいと思えます。何にしてもこの目に見えない脅威に対しては、個人で出来る感染予防をするしか自己防衛の術がありません。

事務局より

春本番になり北海道も過ごしやす、い季節になってきました。平成31・令和1年度中は多大なるご支援を賜りまして有難う御座いました。また、コロナウイルスの影響下、ご支援頂きまして誠に有難う御座います。

平成31・令和1年度事業では、12月より2月は利用者がかなり減少し、総利用者数157名(前年度より引き継ぎ12名含む)になりました。就労支援者数99名で自立者77名・札幌市委託事業対象外の人は4名で生活保護対象者は46名でした。札幌市内から56名・道内39名・道外33名・10代2名・20代29名・30代34名・40代35名・50代32名・60代以上13名です。

緊急事態宣言による利用制限の中、どの団体も定員一杯になり、利用できない人はどうするか考慮しています。また、利用者が発症前の潜伏期・無症状の感染者だったらどうするか等問題が多々あります。衛生面での充実を行い、消毒液・マスク(寄贈)を用意し、対策を行っています。1人でも感染者が出ればクラスターになる事は必至です。

令和1年度事業では、9月1日より令和2年3月31日迄、札幌市市民まちづくり活動促進助成金「さぽーとほつと基金」により、住宅確保困難者に対する居住支援事業で札幌市委託事業対象外者の、すぐに一般就労・一般社会への復帰が出来ない人に支援付き住居に掛かる費用を助成して頂きました。5名の支援を予定していましたが昨年12月よりベトサダ利用者が減少しており、4名の支援になりました。

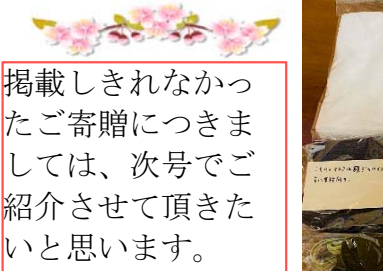
令和2年度事業より、ベトサダ以外の団体は朝回りを中止する事が決まりました。ベトサダは支援事業を始めた当初よりベトサダ単独で朝回りを行って来ました。それにも他団体に参加する事になり一時生活支援でも行ってきました。路上生活者が減少し声掛けにより引き上げ出来る人は少なくはなっていますが、今年度より再度ベトサダ単独での活動として継続して行きます。

今後も今まで行ってきた支援を変わりなく継承し、新たな方向性を模索し、より良い支援活動が出来るようスタッフ一同頑張っていくと思えます。

何卒、皆様の御指導・鞭撻を頂きますようお願い致します。
【藤原】



大変な状況の中、ベトサダへの温かいご支援を贈って下さった方々に、深く感謝致します。大切に活用しています。



掲載しきれなかったご寄贈につきましては、次号でご紹介させていただきます。ありがとうございます。

みなさまのご寄附は 自立を目指す方々の 生きる希望となります

◆ ご寄附 送金先 ◆
【ゆうちょ銀行】
口座番号 02720-1-45798
口座名義 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ

みなさまから託していただいたご寄附は、自立を目指す方々を支援するため、ベトサダの活動・運営のために使わせて頂きます

ご寄附の際に、掲載「可」又は「匿名希望」のいずれかを〇で囲んで頂けると助かります。尚、記載の無い方は匿名とさせて頂いておりますが、掲載可の方はお手数ですがご連絡下さい。以前いづれかの選択をされた方は、登録済みですので記入無でも大丈夫です。

【寄附者様】
2月1日〜2月末日
NPO法人あきた結いネット 坂下美沙様/岡部 欽一様/秀欧会福祉サービズ株式会社様/千田忍様/中山美帆様/他 匿名希望様、13名

3月1日〜3月末日
一般社団法人せいかつ支援機構様/岡部欽一様/秀欧会福祉サービズ株式会社様/中山美帆様/他 匿名希望様、13名

更に、2月は11名、3月も8名の方よりご寄附を頂きました。心よりお礼申し上げます。

広域で自粛が求められている中、26日に衆議院の補欠選挙が行われました。投票率は前回を大きく下回って、34.1%。選挙は民意を反映させる大切なものです。だからこそ、投票のやり方も今一度考えなければ、民主主義の根が揺らいでいくような気がしました。

コロナストレスのせいかわかりませんが、ホームレスの81歳の方を、少年達が執拗に追い回し、拳の果てに石を投げつけ命まで奪ってしまうという悲惨な事件も起こりました。

それでも、この大変な状況の中、心が柔らかくて温かいものに包まれるようなお手紙も頂き感謝の気持ちでいっぱいになります。みなさまより頂いた優しさを、困難を抱えた方々へ伝えられる人間になるよう、一層精進したいと思います。
【佐藤】